

3類型	農林水産物	通巻番号	3 - 19 - 026
地域資源名	猿島茶	認定日	平成19年12月13日
地域	茨城県猿島郡境町	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名: 猿島茶の茶葉と種子を利用した機能性食品等の原材料の開発

会社名: 有限会社 野口徳太郎商店

所在地: 茨城県猿島郡境町1144

連絡先: TEL: 0280-87-0128

H P: <http://www.greentea.co.jp>

FAX: 0280-86-7700

事業概要(新たな活用の視点)

・本事業では、従来飲料として使用されてきた茶葉と、従来捨てられていた茶の種子の効能を活かして、茶葉と種子が持つ有効成分をまるごと摂取できるように、機能性食品等の健康志向食品の原材料や食品への添加材など、食べるための材料として使用する「粉末茶」の開発を新たに行う。
 ・近年、農業従事者の高齢化に伴い、放置茶園が増大しつつある。この放置茶園をお茶の種子を採るための実採取畑に転換できれば、地域産業の活性化にも寄与できる。



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

・茶葉と従来捨てられていた種子の効能を活かして、これらが有する有効成分を活用した機能性食品等の原材料開発を行うことにより、様々な製品開発が可能。
 ・茶葉と種子を使用して製造している類似品は現在なく、独自性があり差別化を図ることが出来る。

市場性

・生活習慣病予防意識の向上などに伴い、消費者の健康志向食品へのニーズが高まる中で、肥満やメタボリック症候群などが気になる中年層や、30代～50代の既婚女性、あるいは仕事を有する女性層を中心に販路開拓。

販路

- ・健康志向の強い顧客を持った食品製造会社
- ・有名茶小売店舗
- ・ホームページ・通販カタログ



地域資源における関係事業者との連携

・茨城キリスト教大学や茨城県工業技術センターなどの学術・研究機関との連携
 ・域内の製麺業、米菓業、菓子業などの地域の企業との新製品開発における連携
 ・近隣に数百件あると想定される放置茶園を持つ農家との新たな実採取畑転換への取り組み